

医療関係者各位

アスベリン[®]錠と アスペノン[®]カプセル の 販売名類似による処方誤りの注意のお願い

2019年9月
ニプロ ES ファーマ株式会社
バイエル薬品株式会社

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ニプロ ES ファーマ株式会社製品「アスベリン錠（一般名：チペピジンヒベンズ酸塩）：鎮咳剤」とバイエル薬品株式会社製品「アスペノンカプセル（一般名：アプリンジン塩酸塩）：不整脈治療剤」につきましては、販売名類似による処方誤りのヒヤリ・ハット事例の報告*が年1件程度ありましたが、2018年以降22件（2019年8月5日時点）と急増しております。

*（公財）日本医療機能評価機構 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業より

処方誤りは健康被害を引き起こすリスクがあります。「アスベリン錠」または「アスペノンカプセル」を処方・調剤いただく際には、今一度、販売名と効能・効果をご確認いただき、また、処方時に薬剤オーダリングシステム等をご使用の場合は、名称の前に薬効分類名を記載する、再確認を徹底するなどの予防策（PMDA 医療安全情報 No.44 参照）を実施するなど、誤処方防止にご配慮賜りますようお願い申し上げます。



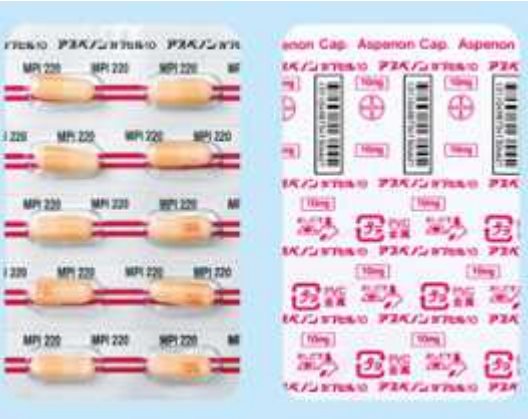
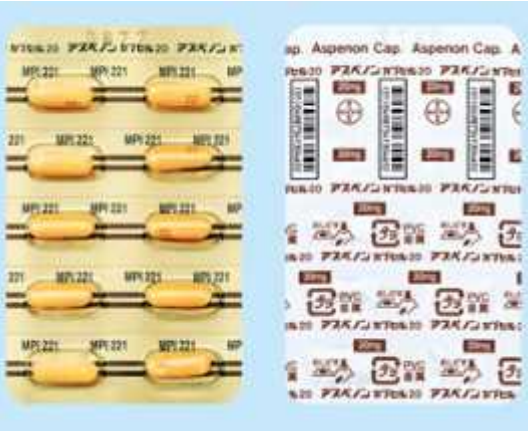
謹白

事例1	風邪薬の処方の中にアスペノンの処方があった。処方ミスの疑いをもち、疑義照会をした結果、処方箋発行元の入カミスであることが判明。正しい薬（アスベリン）に変更となった。
事例2	患者に新しくアスベリン錠 10mg が出ていたが、患者から話を聞いてみると特に咳は出ていなく、不整脈がある事を確認。疑義照会したところアスベリン錠 10mg ではなくアスペノンカプセル 10mg である事が発覚。医院の事務の入カミスの可能性あり。

出典：（公財）日本医療機能評価機構 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 事例 ID：65733/76969（一部編集あり）

本件についてのお問い合わせ先：

- ・ニプロ株式会社 医薬品情報室 TEL:0120-226-898
- ・バイエル薬品株式会社 コンタクトセンター TEL:0120-106-398

販売名	アスベリン[®]錠	アスペノン[®]カプセル
一般名	チペピジンヒベンズ酸塩	アプリンジン塩酸塩
薬効分類名	鎮咳剤	不整脈治療剤
製剤 PTP シートの写真	<p style="text-align: center;">アスベリン錠10</p>  <p style="text-align: center;">アスベリン錠20</p> 	<p style="text-align: center;">アスペノンカプセル 10</p>  <p style="text-align: center;">アスペノンカプセル 20</p> 
問い合わせ先	<p style="text-align: center;">ニプロ株式会社 医薬品情報室</p> <p style="text-align: center;">TEL:0120-226-898</p> <p style="text-align: center;">受付時間 9時 ~ 17時15分 (土、日、祝日、その他弊社休業日を除く)</p>	<p style="text-align: center;">バイエル薬品株式会社 コンタクトセンター</p> <p style="text-align: center;">TEL:0120-106-398</p> <p style="text-align: center;">受付時間 9時 ~ 17時30分 (土、日、祝日、その他弊社休業日を除く)</p>